

放課後等デイサービスの自己評価表保護者様（2025年3月時点）回収率60.4%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標 工夫している点
環境・体制整備	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	1	0	法令に準じた確保をしております。今後も継続してまいります。
	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	6		最低人員に加えて1名以上（児童指導員）配置しています。継続して、スタッフが働きやすい環境に向けての改善・意見交換を図っていきます。1日のご利用者様の1日の上限利用人数が1決まっておりますので、ご希望に添えないこともございます。
適切な支援の提供	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	0	0	保護者様のお話をお聞きした上で、一人一人のお子様に合わせてプログラムを作成しております。継続維持に努めます。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	26	3	0	愛階プログラムについては、その日の状況を踏まえた上でその都度改定を行っております。引き続きお子様の成長をサポートできるように、その都度アセスメントをして対応を進めてまいります。
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	0	0	セラピー後には毎回親御様に向けて当日の様子とどういった対応をするよりお子様が取り組めるようになるかなど共有させていただいております。
保護者への説明等	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか	29	0	0	セラピー後には、毎回保護者様とお子様の状況についてお話をする機会を設けています。困りごとなどの相談にもお子様にあった対応方法についてお伝えさせていただいております。
	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	1	0	
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	4	0	その都度保護者様からのお話には耳を傾け、真摯に受け止め今後の運営における参考にさせていただいております。今後も継続して迅速な対応と、質の向上に努めてまいります。
	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていたか	29	0	0	アプリを活用し情報共有を実施しております。困りごとなどについては、そちらを通してご連絡をいただくことで、現状の把握及びセラピーでのサポート方法を検討し、すぐ対応できるようにしております。
	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	28	1	0	個人情報 は外部に漏れることのないように、注意して取り扱っております。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	6	0	現在保護者様へは、重要事項説明書に記載し、契約時にご説明をさせていただいております。マニュアルについてはすべての教室に配置し、いつでも閲覧できるようにしています。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	17	0	療育の中で、お子様に適宜対応方法など聞き取りをしたり、実践練習を行っております。
満足度	子どもは通所を楽しみにしているか	27	2	0	お子様の苦手な部分に焦点を当てて、サポートをしていきますが、好きなことも取り入れながら、「楽しかった」と思ってもらえるようなプログラムの構成を心がけております。
	事業所の支援に満足しているか	27	2	0	

放課後等デイサービスの自己評価表事業所（2025年3月時点）

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室でのマンツーマン療育のため、スタッフ名で複数児童を療育することはありません。
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		マンツーマン療育かつ、児童の特性に合わせて相性が良いスタッフを配置しています。
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	療育を受けるそれぞれの部屋は配慮していますが、4F建てでエレベーター無しという部分は、身体的には配慮ができていません。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		1時間毎の療育が終わるたびに換気・消毒をしていることと、「使ったものは元に戻す」と指導しており、部屋を使用する時には綺麗な状態になっています。
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集団で共用する部屋ではなく、全て個室です。
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル 4 (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		保護者を含めたフィードバックの内容を共有し、次回療育に対する改善を毎回実施しています。
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		お子様および親御様にも、安心して楽しくご利用いただけるように、意見をお聞きする場を設け、改善に務めています。
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職種間を問わず、直接対話およびオンライン面談によるプライバシー配慮など、個人の意見を言いやすい環境ならびに必要なことは即改善しています。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人内の別事業所を含めてお互いの評価をしていますが、第三者は導入していません。
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		施設外研修は積極的に参加して共有したり、施設内では個別の研修や動画共有などを実施しています。
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		当社ホームページにて公開しています。
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ICFでの分析、ABAでの療育をもとに、できるだけ専門用語を使用せず、誰が見てもわかりやすい計画書を作成しています。
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者モニタリングの内容を共有しており、児童と保護者のニーズを常に把握しています。
	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書は職員間で共有されており、毎回実施するプログラムに反映しています。
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ICFを基本としたアセスメントにて、「できる・できない」よりも「している・していない」に着目して状況確認しています。
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		発達支援の5領域すべてに支援内容を設定し、その他の支援も含めて優先順位をつけて設定しています。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		メインの担当者だけでなく他スタッフの意見も取り入れてプログラムを作成しています。

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標 工夫している点
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用毎にプログラムを作成しており、前回の内容を踏まえて常に改善しています。
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育が前提ですが、ご要望があった際には他児童との合同療育も取り入れています。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼からスタートし、その日の状況を共有しています。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		口頭だけでなく記録として残し、次回担当スタッフが誰になっても同じ目的の療育ができるようにしています。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の療育内容を記録として残し、過去の内容も含めてわかりやすくしています。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長でも6ヶ月毎のモニタリングを実施し、すべて直接面談にて30分以上かけて聞き取りしています。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		1時間のプログラムの中にスケジュールを組んで実施しています。
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		常に複数の教材を用意し、自己選択にて何から実施するかを決めていただいています。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者だけでなく、メインとして担当しているスタッフが対応しています。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域のクリニックと提携しているだけでなく、必要に応じて児童の主治医にも連絡をとるなど連携しています。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて学校を訪問し、授業中の様子を観察したり、療育の方針について情報共有しています。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者を通じて、文書での情報共有などを行っています。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在該当者ありませんが、どの事業所とも情報共有できる用意はできています。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修には積極的に参加し、必要な時には連絡をとって助言を受けています。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	専門性の高い個別療育のため、他者との交流は実施していません。
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会主催の研修会等には、積極的に参加しています。
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用時間の終了前に保護者を含めたフィードバックにて毎回情報を共有しております。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者からの要望があれば、療育と一緒に参加していただいたり、別室にて個別面談やオンライン面談なども実施しています。

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標 工夫している点
保護者との説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約の機会にしっかり説明し、年度毎に基準が変更となった場合にはその都度説明して同意をいただいております。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画書に同意をいただく際に、支援の優先順位もご確認いただいた上で同意をいただいております。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		提示した計画書に修正等があれば即変更し、納得いただいた上で同意をいただいております。
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの要望があれば、療育と一緒に参加していただいたり、別室にて個別面談やオンライン面談なども実施しています。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	共同での療育ではなく、全てマンツーマンによる療育であり、保護者同士の交流の場の主催はしていません。
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご意見があった場合は記録に残し、改善すべき部分は次回の利用までに必ず対応しています。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		専用のアプリにて情報共有をしております。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類の管理だけでなく、他児童や保護者がいる前では氏名を呼ばずIDで話すなど、個人情報に充分に留意しています。
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーションボタンなどのツールや、専用の意思表示教材などを使用して、情報伝達ができるようにしています。
非常時等の対応	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	専門性の高い完全個別療育であり、個人情報の兼ね合いもあり地域との交流はありません。
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		突発的な出来事にも対応できるような療育内容として計画書にも記載し、児童には事前告知無しで訓練を実施します。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地域に合わせたBCPを策定し、非常災害に対する対策をしています。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングだけでなく、毎利用時のフィードバックにて確認しています。
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に食事提供はしていませんが、状況把握しています。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		児童によっては部屋内の器具を撤去したり、危険予知を考慮した上で療育を実施しています。
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングだけでなく、枚利用時のフィードバックにて情報共有しています。
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		突発的に発生した出来事については、全ての出来事を記録に残して共有しています。

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		カンファレンスや指定動画の視聴など実施しています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		カンファレンスや指定動画の視聴など実施していますが、過去事例ありません。